

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	214	3年	後期	看護学科	必修	成人看護学急性期実習 Clinical Practice in Acute Care Nursing	135	3
担当教員								
宮宇地 秀代	仲田 琴美	仲田 由美						
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
○	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
○	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
○	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
○	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
急性期にある成人患者の科学的根拠に基づいた看護実践を修得するために、実習体験を通して、手術および治療を受ける成人期の患者を全人的にとらえ、手術や治療における患者の心身の回復過程に応じた看護に必要な専門的知識・技術・態度を獲得する。								
到達目標（授業目標）								
①手術および治療過程における患者の健康状況を総合的に説明できる。								
②手術および治療における患者の心身の回復過程における看護の方向性を導き出すことができる。								
③社会資源の利用や患者とその家族をささえる継続看護の必要性および保健医療チームの連携について説明できる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								

授業概要	1. 実習場所：愛媛県立中央病院：成人病棟および関連部署 2. 実習期間：3週間 3. 実習時間：8：30-16:30 4. 実習展開：詳細は実習要綱を参照

成績評価方法及び基準

実習評価表（100点）の到達度に基づき評価し、60点以上を合格とする。

教科書	成人急性期看護方法論で使用した教科書、講義資料
-----	-------------------------

参考図書等	医療情報科学研究所「病気がみえるシリーズ」（メディックメディア）
-------	----------------------------------

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

予習：成人急性期看護方法論で学習した内容を必ず復習し、授業内で学習した技術の自主練習をする。

復習：教科書、講義資料、関連図書などを用いて、実習中に体験した看護を振り返る。

関連科目

前科目	156	臨床病態学Ⅰ(共)	157	臨床病態学Ⅱ(共)	210	成人看護対象論	211	成人急性期看護方法		
後科目	242	看護アセスメントⅢ	249	総合実習						

実務家教員

看護師（医療機関）	宮宇地 秀代	仲田 琴美	仲田 由美			

備考	
----	--